

# ある町の天気相談所

Vol.37  
2021.1.5

令和3年1月号



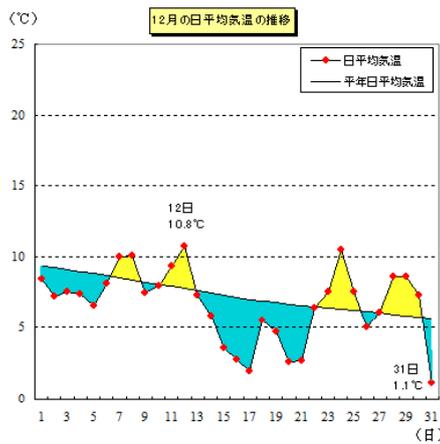
## 初日の出

令和3年1月1日朝は、快晴の天気でした。強い冬型の気圧配置のため、海上には雲がありました。朝7時の気温は0・8℃、北西の風4・2メートルでした。



## 12月の気候

12月は冬型の気圧配置になることが多く、強い寒気も入ってきたため、月平均気温は6・7℃と、平年より低い気温となりました。平年より低くなったのは7月以来です。冬型の気圧配置と、南の海上を低気圧が進む日が繰り返しましたが、雨雲は北へ広がらず、月合計日照時間は184・4時間とほぼ平年並みでしたが、降水量は7・5ミリと12月として、7番目に少ない量となりました。



## 1カ月予報 (気象庁発表)

1月は、平年と同様に晴れの日が多く、期間の前半は気温が低く、その後はほぼ平年並みになるため、1月の気温は「平年並みか低く」、降水量および日照時間はともに「ほぼ平年並み」の見込みです。

## 天気相談所のあゆみ

講演会・出前講座3

天気相談所では開設以来、気象講演会を何度か実施してきました。

2012年(平成24年)からは、テレビなどで活躍している気象予報士をゲストに招いて開催しています。2012年は、NHK水戸放送局の当時の気象キャスターの本庄美奈子さん、2015年は当時NHKの全国放送で気象キャスターをされていた関口奈美さん、2016年は同じくNHKの気象キャスターだった井田寛子さん、2019年は現在もNHKの週末を中心に出演されている、南利幸さんにお越しいただきました。特に2016年は、「天気相談所60年のあゆみ」制作記念として、井田さんの基調講演ののち、水戸地方気象台次長様、日立市天気相談所の歴代所長2名にも参加いただいたパネルディスカッションを開催し、天気相談所のこれまでのあゆみを振り返り、地方自治体として気象業務を行う意義について、話し合われました。

## 天気用語の基礎知識

### 冬の季節風

「西高東低の冬型の気圧配置」になり、大陸の高気圧から東の海上の低気圧に向かって吹くようになる風のこと。同じような気圧配置が数日間続くこともあるため、日立市においては、北西の風となり、山を越えてくるため、冷たく乾燥した風が強く吹き続けることとなります。日立市における最小湿度や最大風速も冬に観測しています。

### 神峰の山から

2020年は、講演会や出前講座、施設見学などが、ほとんどできなかった年となってしまいました。計画していたものも中止となってしまったり、受付ができない時もありました。その一方、日立市のコミュニティエフエムである、エフエムひたちには、過去最高の6回出演し、1月8日16時44分からの「もっと知って日立市知ってつけ」の出演も予定されています。

市民の皆様に気象に関する知識を広めるために、この「ある町の天気相談」なども用いて、今年も情報発信を頑張っていきたいと思えます。はやく、皆さんからの依頼に応えられるようになればいいなあ。